



### 「人生は美しくすることができる」

日本を代表する指揮者の一人である佐渡裕さんは、師匠のレナード・バースタイン氏が言った「Life can be beautiful (人生は、美しくすることができるんだ)」という言葉大切にしています。美しい音楽や、素晴らしい人生を求めらるなら、欲を持ち、よりよい環境や、条件を望むべきだというメッセージだということでしたが、これを聞いた佐渡さんは、「お金や名誉というのではなく、自身が望むことで、もっと成長できる気がします。もし彼の生活や、若い人に真剣に向き合う彼の姿勢を間近で見えていなかったら、僕はとくに、『これで十分』と満足していたでしょう」と振り返っています。佐渡さんの「成長したい、修業時代も今も」という強い信念が伝わってきます(朝日新聞から)。中学生の時期は、志(夢・目標)を持ち、ひた向きに努力することで、成長していく時期です。それは佐渡さんのいう「自身が望むことで、もっと成長できる気がします」に通じると思います。今は夢かも知れないけれど、それに近づくために、日々勉強や運動に励むことが、一歩ずつ夢に近づくことになります。繰り返し行う単調な勉強も厳しいトレーニングでの運動でも、ひた向きに続けて積み重ねていくことが心身ともに鍛えられ、強いては成長につながるのです。「人生は美しい」だけでなく、「人生は美しくすることができる」という思いが大切です。中学校時代は、大いに自分を鍛え高める時期だとも言えます。基礎がぐらついては其の後の成長は、さらに努力が必要になります。しっかりとした土台を築くのが中学生の時期です。

1年生は、ふれあい合宿に行ってきました。ウォークラリーやナイトハイク、キャンドルの集い等、体験を通して中学生としての心構えや先生や友達の輪を広げた活動となりました。今後も様々な行事や、新しいことを身に付ける授業、友人と切磋琢磨する部活動等を通して、教育活動を進めていきます。さらに、自己の生活を正し律していく「自己指導能力」を養うのも中学生の時期です。基本は、「礼を正す、場を浄める、時を守ることが人間の生活の基本・原点となる」と思います。

私も、レナード・バースタイン氏のいう「人生は美しくすることができる」のように、志を高く持ち、自分の人生を自分で切り拓き、自分を磨いていく守恒中学生を育てるべく、学校教育目標「夢に向かって最善を尽くす、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」を志として胸に刻み、日々励んでいきたいと思ひます。

## ◆ふれあい合宿（1年）◆ 6月7日（水）～9日（金）

1年生は、玄海青年の家を舞台に2泊3日のふれあい合宿を実施しました。3つの目的（①豊かな自然環境の中での活動を通して、自然に親しみ、自然を大切にする心を育てる。②種々の活動を通して、生徒の自主性や積極性、協調性を養う。③集団での宿泊生活を通して、集団行動の規律を学ぶと共に、教師と生徒、生徒相互の絆を深めながら自己成長の機会とする。）と、生徒自らが考えたスローガン「合宿で広がる仲間の輪、すばやく動いて、時間いっぱい活動しよう。」を掲げ、活動をしました。



### 「ふれあい合宿」1年3組 平塚 さん

二泊三日のふれあい合宿で、友達との絆が深まったと思いました。1日目、OLピンゴラリーは、雨のためできず代わりに室内オリンピックをしました。室内オリンピックでは、「大縄跳び」「玄海ヨットレース」「ピンポンレース」をしました。なにより友達とのチームワークが大切だということに気づきました。勝ち負けに関係なく楽しく遊べました。夜はナイトハイクがありました。途中いろいろなことがあったけれど、なんとかゴールまでたどり着くことができました。このためだけにいろいろな先生方が、準備をしてくださったことに感謝したいです。とても楽しい夜になりました。2日目は、みんなの気持ちが伝わったのか晴れました。朝からウォークラリーをしました。とても長い道のりで上りや下りがたくさんあり、みんな疲れてやる気をなくしたこともあったけれど、お互いに励ましあいゴールすることができました。ゴールした時は、やり遂げたという気持ちがわいてきて、達成感と一体感ができ、喜び合うことができました。仲間への信頼が深まったと思いました。夕方からキャンドルのつどいでは、楽しく遊んだ時間とは気持ちを切り替えて行うことができました。「火の守」の言葉を聞いて、今までの自分をよく振り返ることができました。この3日間で、友達とふれあい、ルールやきまりを守って楽しく活動することができました。係の仕事(生活係)では、自分の仕事に責任を持ってやるのが大切だと思いました。そして自分が声かけをしないと皆が分からなくなってしまうので、まず自分が基準となってやるのが大切だと思いました。ふれあい合宿で感じたことや学んだことをこれからの学校生活に生かしていけたらいいと思いました。(一部略)

